

一 次の(1)・(2)の文の——部の言葉は、何を指していますか。あとの1から4までの中から一つえらんで、その番号に○をつけましょう。

(1) 公園に、白いひげを生やしたおじいさんがいたら、それがぼくのおじいさんです。

- 1 公園 2 白いひげ 3 おじいさん 4 白いひげを生やしたおじいさん

(2) コムギは、多くは秋にたねをまき、はたけで育てます。コムギはもともと、雨があまりふらない、すずしい土地で育つ植物で、日が長くなると実をつけるせいしつがあります。はたけで育てて、日が長くなる夏のはじめにしゅうかくするのは、そのためです。

- 1 秋にたねをまき、はたけで育てる 2 雨があまりふらない、すずしい土地で育つ
3 日が長くなると実をつけるせいしつがある
4 日が長くなる夏のはじめにしゅうかくする

二 次の文の「たくさん」は、どの言葉をくわしくしていますか。次のアからオまでの中から一つえらんで、その記号に○をつけましょう。

- ア 黄色い、 イ 小さな ウ かぶの エ 花が オ さきました。
黄色い、 小さな かぶの 花が さきました。

三 次の文の主語はどれですか。次の1から5までの中から一つえらんで、その番号に○をつけましょう。

- 1 黄色い、 2 小さな 3 かぶの 4 花が 5 さきました。

四 川田さんは、徳島とくしまけん県の「おせつたい」について感じたことを作文に書きました。次は、その下書きの一部です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

徳島には、おへんろさんたちをあたたかくおむかえする地元ならではのおもてなし、おせつたいという文化があり、今も受けつがれている。徳島のよいところは、おせつたいという伝とうが今も残っているというところがよいところだ。徳島のよさをアピールする宣言文せんげんの中に、おへんろは、歩く人だけで成り立つものではない。道々でそれを助ける人があって、はじめて可能かのうになるという言葉があり、なるほどと思った。

(1) 川田さんは、——部の文を読み直して、「書き方がおかしいな。」と感じました。「徳島のよいところは、」につづけて、正しく直した文を書きましょう。

徳島のよいところは、

(2) 川田さんが書いた下書きの一部には、他の人が書いた文章を引用したところがあります。引用したところを下書きの中から見つけ、「」を一組つけましょう。